

■テーマ「三重大サイン計画」決定。(5月上旬)

■学内をフィールドワーク。(5月中旬)

■ボイド管の耐久性の実験。(6月中旬)



1本につき6～7個の土嚢をつめる。

「転倒しないこと」が1番大切。

■ボイド看板制作。(6月下旬)



加工前のボイド管。



白ペンキで塗装していく。



完成。あとは地図部分を待つのみ。

■地図部分デザインについて会議中。(6月～7月上旬)



様々なタイプの案が出る。



グループ別につくったものを皆で議論。



パソコンでデータ修正。

■ポイド看板設置。(7月9日～20日)



リヤカーでポイド管を運び出す。



地図部分を貼り付けて
完成。



土嚢を入れる。



■ポイド看板修復。

予想外の雨により設置2日目にして数本のポイド看板の地図部分が濡れてしまう。



原因究明。
どうやらビニールの密封度が
甘かったらしい。



雨がしみ込まないように
ボンドで丁寧に覆っていく。

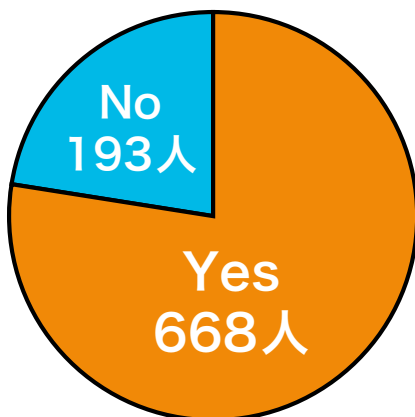


修復したシートを巻き付けていく。

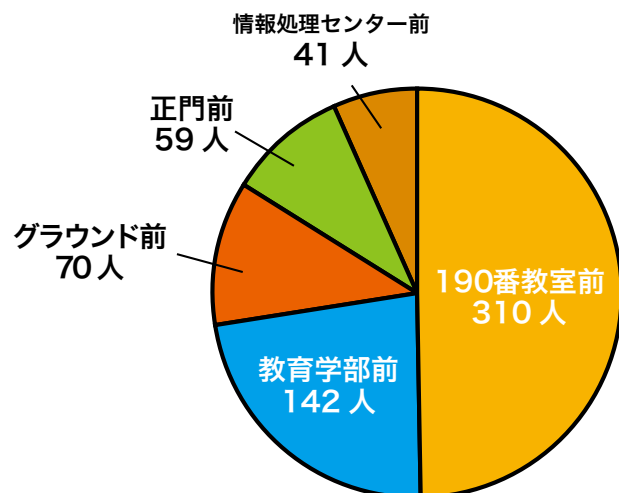
■アンケート実施。(設置期間内)

共通教育と教育学部の授業でアンケートを行った。以下はその結果。

★案内板を見た。



★どの案内板が1番好き？



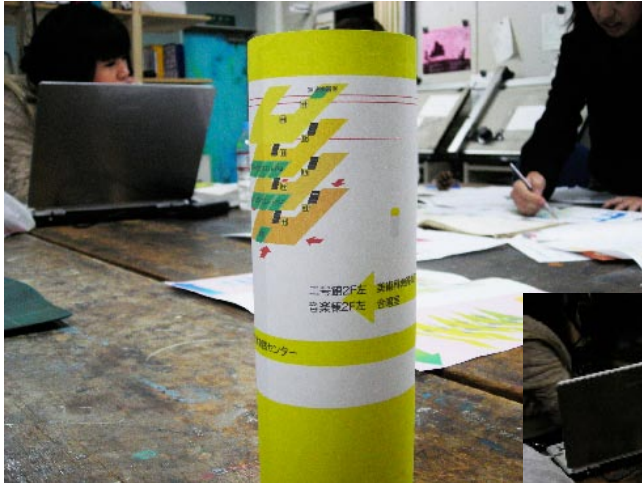
■前期の反省会。(10月上旬)

「地図部分が小さい」「雨対策が甘かった」などの意見が出る。

後期はよりデザインに力を入れることになる。

■デザイン会議。(10月下旬～)

後期のコンセプトは「統一感」。色や地図の形式に気を配るといった意見が出る。



模型をつくり雰囲気をつかんでみる。



6本それぞれのテーマカラーを決定。

■ポイド看板設置。(11月25日～12月22日)

2回目ということもあり手際よく進む。

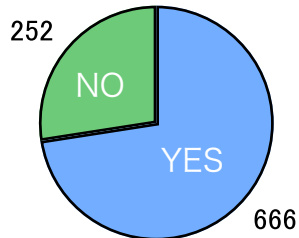


後期ポイド完成。

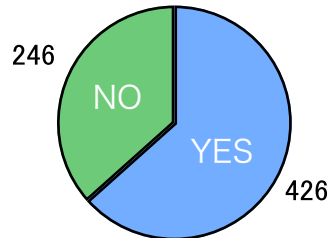
■アンケート実施。(12月10日～14日)

前期と同様に共通教育と教育学部の授業でアンケートを行った。以下はその結果。

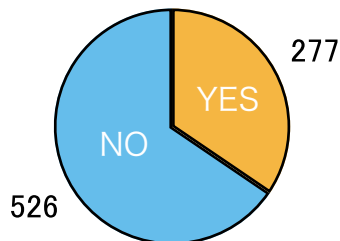
☆大学内に設置されている案内板を見た。



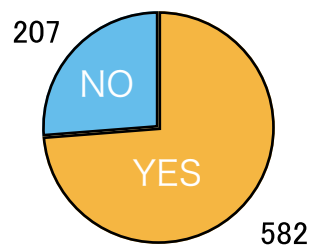
☆前期に設置されていた案内板も見た。



☆これまでの案内板で十分だ。



☆この案内板を正規の案内板として置いてほしい。



■『教員と学生が語る会』参加。(12月5日)

FD委員会のポスターセッションに参加。



ポスター完成。



まだ設置期間内だったため多くの人にアピール。

■後期の反省会。(1月)